

ロボット介護推進プロジェクト 移動介助（非装着型）

# \*i-PAL導入効果測定報告

－ 岐阜県内での取り組み事例 －

株式会社 今仙技術研究所  
岐阜県福祉総合相談センター

岐阜県立 障害者支援施設 サニーヒルズみずなみ

# \* i-PAL 概要

アームクッション

リモコン



下肢のセッティング




上肢のセッティング



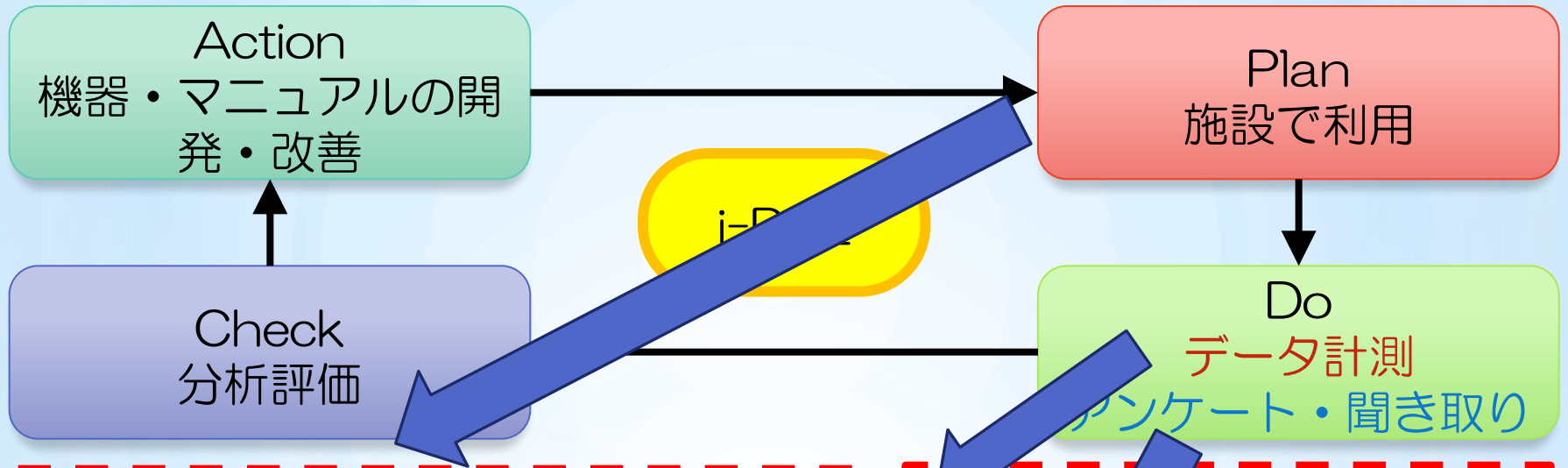
リモコン  
操作による  
移乗

# \* プロジェクトの流れ

- \* 2014年 5月 プロジェクト始動、仲介者・協力施設への協力依頼
- \* 2014年 6月 チーム編成
- \* 2014年7-8月 機器製作 ←  43台作製
- \* 2014年 9月 導入講習会の開催
- \* 2014年10月 導入前測定の実施、i-PAL導入開始
- \* 2014年11月 導入後3週間後の測定、導入後6週間後の測定
- \* 2014年12月 導入後9週間後の測定、効果測定終了
- \* 2015年 1月 効果測定のまとめ、事業完了（予定）

# 介護現場で実際に使えるロボット 介護機器を導入するために

## \* 効果測定のための目的



被介護者	必要な時に移乗できるか？
	移乗の身体的負担が軽減されるか？
	遠慮や気兼ねなく移乗できるか？
	移乗が容易になることで、食事、排泄、整容や趣味、参加レベルの機会が増えるか？
介護者	体重支持が軽減されるか？
	1人でも移乗介助が可能になるか？

被介護者の人数、自立度
介護者の人数
移乗介助の開始時刻、終了時刻
きつさ
移乗の目的
移乗の対象物 車椅子⇄ベッド
介護者のリフト使用経験
現状の移乗介護の課題(対象者)

実証試験総論 - 移乗介助(非装着型・装着型)、排泄支援 -  
2014.7.1 大川弥生(産業技術総合研究所)をもとに作成

## 対象者の選定

### ①導入講習会の実施

i-PALの機構・適応・禁忌を説明。

### ②対象者の状態の把握

被介護者の状態を基礎記録用紙に記入してもらう。

### ③対象者の選定

基礎記録用紙と施設での聞き取りから対象者を選定。



導入講習会の様子

#### ■基礎資料用紙

施設名		実施日	月	日
-----	--	-----	---	---

#### 1. 基本情報

氏名			
性別	男 / 女	年齢	歳
氏名	氏名		
住居内居否	な・あり	「あり」の場合は	
日常利用可能な介護	な・あり		
現在の状態	介護者の数	点検回数・巡回回数・徘徊回数	回数(人)
		必要に必要な時間(約)	(分)
	介護者の数	点検回数・巡回回数・徘徊回数	回数(人)
		必要に必要な時間(約)	(分)

#### 2. 身体寸法

身長	cm		
体重	kg		
座位時背の高さ	背高(約)	背高(約)	背高(約)

#### 3. 基本能力

目の視覚から読み上げることができるか	可能/否	5分	できない
聴覚から読み上げることができるか	可能/否	5分	できない
読み上げることができるか	可能/否	5分	できない
読み上げることができるか	可能/否	5分	できない
読み上げることができるか	可能/否	5分	できない
読み上げることができるか	可能/否	5分	できない
読み上げることができるか	可能/否	5分	できない

基礎記録用紙

# 移乗介護の記録

産総研が開発している目標指向的介護記録システム  
(Go Care Support System) を介護施設に配布。  
移乗介護の記録を送信してもらう。

今回の記録方式に慣れてもらうため  
導入前は紙で運用し、導入後からスマホを活用した。

移乗動作チェック表  
対象者の方が移乗される時に記入をお願いします。

実施日	実施者	実施時間	実施場所	実施内容	i-PAL	その他機器	非使用
6/10	10			起床	●		
6/30	11			排泄			●

導入前測定記録紙

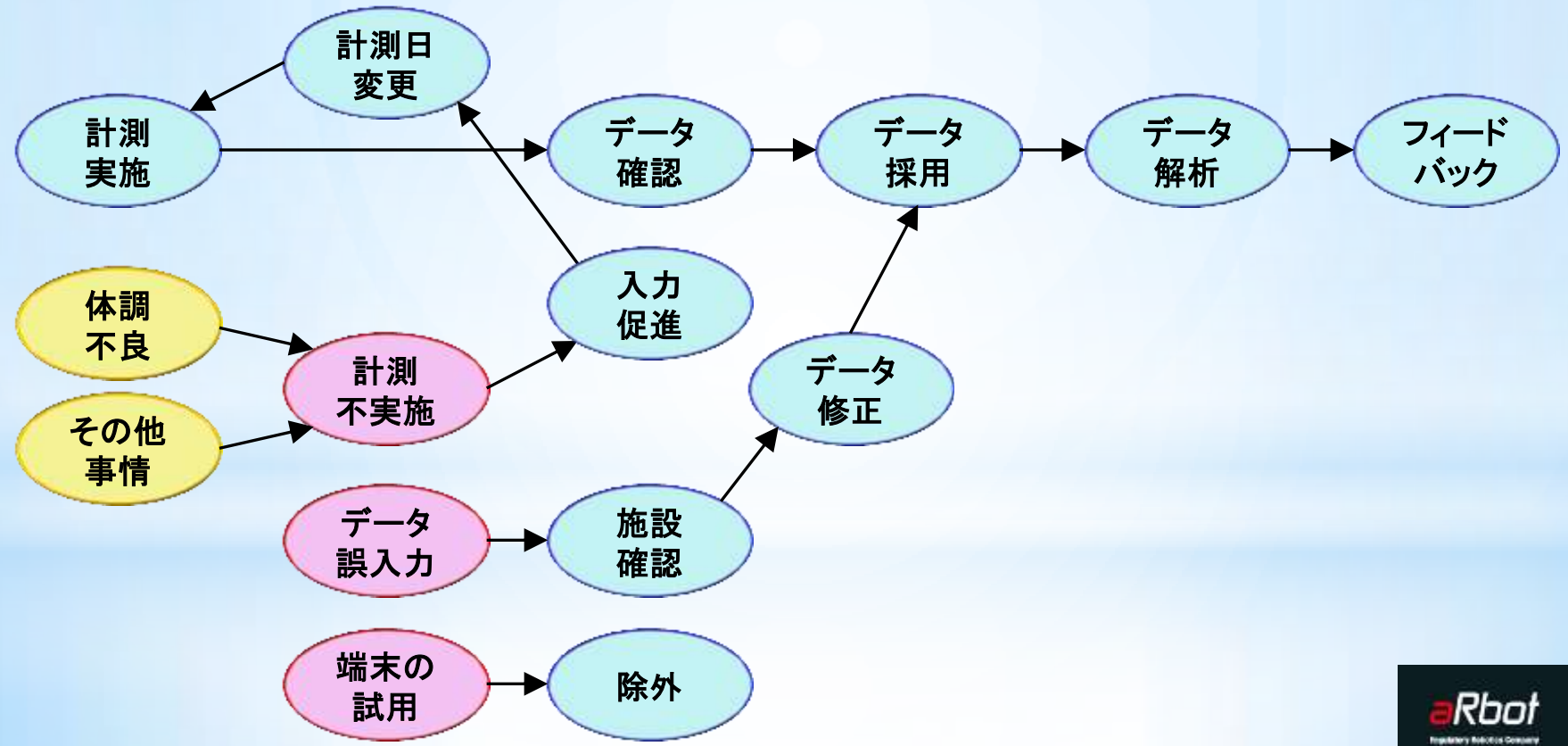
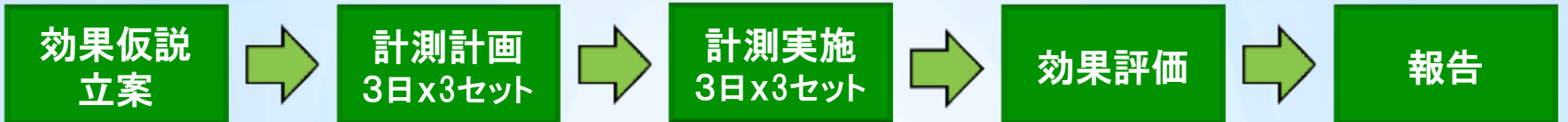
# \*効果測定



# 正しく効果評価するためのプロセス構築と管理

# \* 効果測定

(アルボット社)



# \* 介護現場にて



実際の使用場面(サニーヒルズみずなみ)





\*ご静聴 ありがとうございました。